

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	EGFR 遺伝子変異が stage 0 - I 肺腺癌（第 8 版 TNM 分類） の予後に与える影響
	研究目的	近年、肺癌の進行度(ステージ)の指標として世界中で使用されている第 8 版 TNM 分類が新しくなりました。現在その肺癌のステージに関わる要素としては、肺癌の大きさ、周囲へ広がり具合、リンパ節転移の有無、肺癌の顕微鏡所見などが知られております。一方、肺癌の癌遺伝子の一つと知られている EGFR 遺伝子変異は患者さんの予後に関与することが知られてきておりますが、今回の第 8 版 TNM 分類では、ステージに関わる因子とはなっておりません。今回第 8 版 TNM 分類を用いて EGFR 遺伝子変異が患者さんの予後にどのように影響しているかを検討し、今後さらに新しい TNM 分類で EGFR 遺伝子変異の有無が影響しうるかを検討いたします。
	研究対象者	2006 / 1 - 2018 / 12 に原発性肺腺癌に対して切除を行った stage 0 - I 肺腺癌のうち、EGFR 遺伝子変異検索を行った EGFR 遺伝子変異陽性肺癌と EGFR 遺伝子変異陰性肺癌の患者さん。
	研究期間	西 暦 2019 年 8 月 7 日 ~ 西 暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊坂哲哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	無し